

川崎市岡本太郎美術館 教材 (貸し出し・オンライン) のご案内

学校で岡本太郎の作品と楽しくふれ合える教材の貸出しを、無料で行っています。映像 DVD“岡本太郎の芸術”・A5、A3 サイズのパウチ加工した作品写真など、クラス全体での鑑賞、グループワークなど必要に応じた教材があります。ぜひ、授業教材としてご利用ください。

《貸し出し教材の申込の流れ》

FAX または、下見時に、
教材貸出依頼票を提出



受け取り
(来館または
着払い郵送)



返却
(来館または
元払い郵送)

* 下見や教材の貸出でご来館される場合は、必ず事前にお電話でご予約ください。

1. 映像資料「岡本太郎の芸術」DVD

岡本太郎を紹介する映像です。

時 間：18分

内 容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど
様々な活動の記録をわかりやすく解説した内容です。

※テロップ入りの聴覚障害者向けビデオもございます (内容は同じです)



2. 作品プリント ★黒板などに張り、クラス全体で鑑賞するのにおすすめです。

代表作品 36作品 (パウチ加工プリント)

サイズ：42.5cm×30.0cm



太郎さんの代表的な作品がA3の大きさ
で36枚のカードになっています

<内容>

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》《重工業》《空間》 他全14作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《坐ることを拒否する椅子》

《午後の日》《太陽の塔》

他全19作品

レリーフ：《天に舞う》全1作品

写 真：《縄文土器》他全2作品

※個々の作品についての解説書付

遊ぶ字 40作品 (パウチ加工プリント)

サイズ：42.5cm×30.0cm



「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた
40文字の漢字がカードになっています。

代表作品 20作品 (フレーム入りプリント)

サイズ：42.5cm×30.5cm



太郎さんの代表的な作品が約A3の大きさ
で20点のフレームに入っています

<内容>

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》《喜》《音》《若》《海》他 全40作品

3. 作品カード (アートカード)

サイズ：12cm×18cm ★班ごとのグループワークにおすすめです。

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品がA5の24枚のカードになっています。



<内容>

油 彩：《空間》《傷ましき腕》《夜》《重工業》《森の掟》他全7作品
彫 刻：《午後の日》《若い時計台》《樹人》《太陽の塔》他全10作品
版 画：《眼》《夢》全2作品
レリーフ：《マスク》全2作品
インダストリアル：《顔のグラス》
《坐ることを拒否する椅子》他 全3作品
※アートカードを使ったゲーム・遊び方例付

4. 大型作品

★黒板に張り、クラス全体でじっくり鑑賞するのにおすすめです。

サイズ：約B倍 (1030cm×1456cm)

太郎さんの代表的な作品をB倍サイズに印刷し、巻いて筒状になっています。お使いになりたい作品をお選び頂きます。



<内容>

油 彩：《傷ましき腕》《夜》《空間》《森の掟》《重工業》 全5作品

5. どこでもTAROアトリエ (オンライン)

当館ホームページの“どこでもTAROアトリエ”では、これまで好評だったワークショップから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアを、紹介しています。

学校での教材や課題などにお使いいただけます。

使用する際は、普及企画係までご一報ください。

また、印刷物には引用元として「川崎市岡本太郎美術館 どこでもTAROアトリエ」と記載いただきご使用ください。



★一部内容を紹介

第1弾 “みんなで作ろう！こどもの樹”

《こどもの樹》には、上部の顔の他に13の顔があります。
怒っていたり、ベソをかいていたり、ペロを出している子も……
みなさんは、どの顔が好きですか?!自由に、“自分勝手”に、塗り絵をしてみましょう!



第5弾 つくろう！ミニチュア《坐ることを拒否する椅子》

《坐ることを拒否する椅子》を作ってみませんか。
紙粘土とペットボトルのキャップでつくる「ミニチュア・坐ることを拒否する椅子」の作り方を紹介しています。自分だけの“拒否する椅子”をいろいろなデザインでたくさん作って、ミニギャラリーにしてみましょう。



6. オンラインミュージアム (作品検索)

当館ホームページにオンラインミュージアムが加わり、作品検索をしていただけます。またいくつかの作品は、当館学芸員とアーティスト“とに～”さんによる作品解説動画も配信しています。

鑑賞授業や制作の導入など、授業内でお使いいただけたらと思います。使用する際は、普及企画係までご一報ください。



★作品プリント(A 3パウチ加工)

太郎さんの代表的な作品がA 3の大きさに36枚のカードになっています。

- ・クラス全体にみせることができます。
- ・学年や学校、図工室や美術館の掲示板に展示し「岡本太郎ミニ美術館」をつくり自由に鑑賞できます。
- ・アートカードに入っていない作品もあるので、アートカードで活動した後、クラス全体で1作品を鑑賞したり「自分だったらこんな題名」などという活動を行ったりできます。

★遊ぶ字(A 3パウチ加工)

「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた40文字の漢字がカードになっています

- ・鑑賞するだけで自分もかいてみたいという意欲が高まってきます。
- ・字であるが絵でもあり絵であるが字でもあるという作品づくりに挑戦するきっかけとなります。
- ・小学校4学年の1/2成人式、小学校6学年、中学3年生が卒業を前に、「今いちばん大切にしていること、自分を表すとしたら、これからに向けて等を漢字一文字に表す」活動はいかがでしょうか。

★作品カード(アートカード)

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品がA5の24枚のカードになっています。

- ・少人数(3~5人)のグループでカード1セットを使うと一人一人じっとみたり手に取ったりできます。子どもたちは、みせるだけでとびつきます。自分たちで「これなに?」などと口々に話し、仲間分けのようなことを始めたりします。
- ・子どもたちはこのカードで「鑑賞」という枠にとらわれないで遊んでいる気持ちになります。しかし遊びで終わらず、鑑賞のねらいを持ってこのアートカードを使うことが大切です。

《アートカードを使った活動の前に》

- 1、アートカードの作品は太郎さんの作品であることを紹介。
- 2、カードの扱い方の説明(ケース内側の遊び方例の下に記載してあります)。
- 3、自分の感じたことを表してみることで、友だちの感じたことをヒントに感じ方を深めること、友だちと同じ感じ方ではないことを誇りに思うこと、鑑賞に答え、正解はないということなどを子どもたちに話してあげてください。
- 4、表にして並べる時のわくわくドキドキ感、太郎さんの作品との初めての出会いを大切にしてください。
- 5、「気になる作品」はあるかな?と問いかけてみてください。
- 6、アートカードを使った活動をアレンジしたり自由に考えたりするなど先生ならではの出来ることがあります。
- 7、子どもたちがアートカードを使った遊びを自由に考えやってみる活動を試みてください。